

# リーン生産方式の導入

## ～リーンコンストラクション～

# 日本における ICT導入 : Next Stepの必要性

- ・土工と舗装工におけるMG, MC, ドローン測量を主軸にしたICTは一定導入が進みつつある。
- ・導入できる企業は、導入している。所定のICT導入に対応できない企業には別のスキームが必要。
- ・MG, MC, ドローン測量以外にも新たなICT技術が生まれつつある。Society 5.0やDXに対応するためには、建設のデジタル化の推進が必要で、そのためには多様なICT技術の導入を進める必要がある。



How ?

リーン生産方式の考え方を活用したICT導入の検討

# なぜ、リーン生産方式か？

## i-Constructionで最も重要なことは？

現場毎に課題の抽出とその改善方法の  
検討プロセス



- ・リーン生産方式のベースとなるトヨタ生産システムは、生産現場における「KAIZEN」提案を生産全体の効率化策に繋げることを目指す。
- ・すでに生産方式として確立されているリーン生産方式を建設分野でも活用する。

# リーン（Lean）生産方式

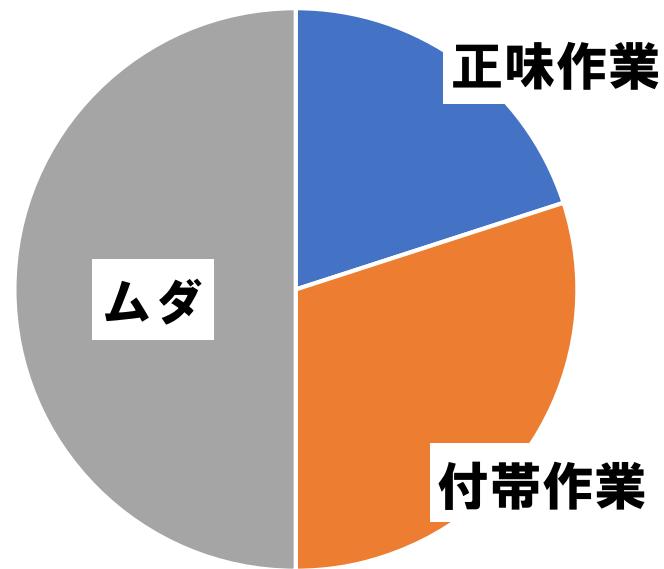
- ・トヨタ生産方式をMITが研究し体系化.
- ・Leanには「ぜい肉がなく引き締まって痩せている」というような意味がある. 製造工程の「ムダ」という「ぜい肉」を落としたスリムな生産方式.
- ・ジャストインタイム, カンバン方式, 5S, 見える化などを通じた「ムダの顕在化」と「改善」（問題発見・解決）により, 製造工程の全体にわたってトータルコスト及びリードタイムを減らしていく.
- ・重要な論点：ムダの顕在化と改善の継続性, 部分最適ではなく全体最適の視点.

# リーン生産方式における作業の分析



付帯作業：付加価値は生まないが、  
無くてはならない作業  
→ 合理化・効率化の対象

ムダ：無くてよい余計な動作  
→ 取り除く（省く）



資料提供：立命館大学 経営学部 善本哲夫氏 ポーランドの日系工場で撮影

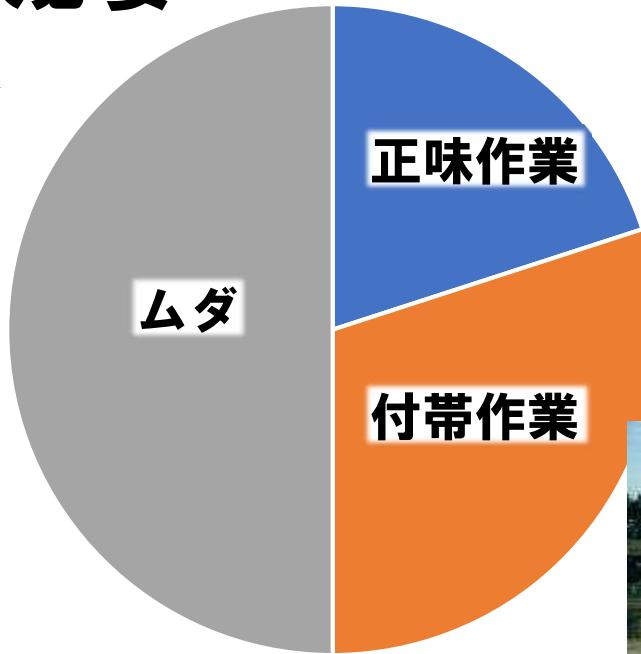
# 道路土工 作業分析

## ① 正味作業：工事の本質的作業



## ③ ムダ：本来必要 の無い作業

- ・工程間の調整時間
- ・検査待ち時間



書類作成



写真撮影



測量

## ② 付帯作業：正味作業を達成するために必要な作業

## ② 付帯作業の効率化

### スマートフォンの活用(1)

#### 現場写真管理の合理化



手書き黒板

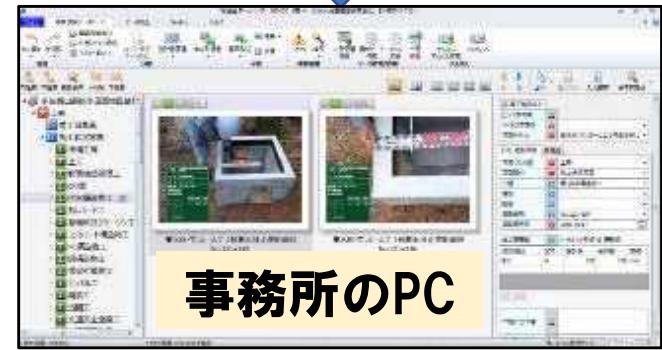
#### 従来の工事写真

- ・ 黒板を持ち歩く必要あり.
- ・ 対象毎に黒板を書き直す必要あり.
- ・ 文字、数値が不鮮明な場合あり.
- ・ 写真整理に時間が必要（後処理）.



電子小黒板

スマホで写真撮影+アプリで現場情報入力



事務所のPC

- ・ 黒板の持ち歩きが不要.
- ・ 黒板を事前に作成可.
- ・ 電子小黒板のデジタル情報で写真整理の自動可ができる.

## スマートフォンの活用(2) 出来形管理の合理化



### 計測値をメモして書類作成

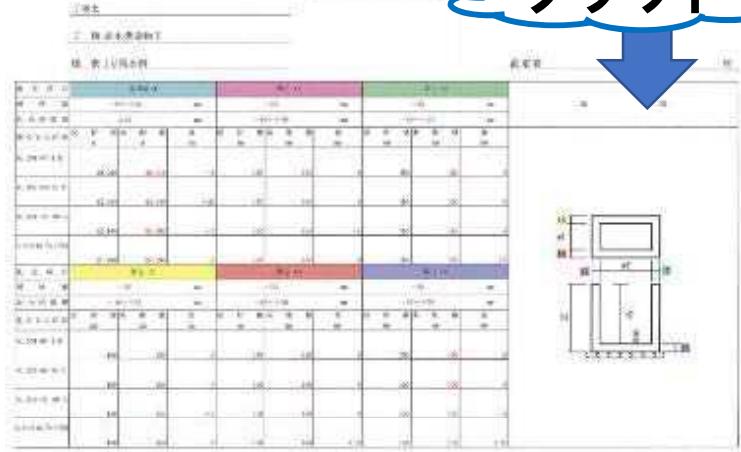


**計測したその  
場で入力！**

データを読み込むだけで  
提出書類が自動で作成表

転送

クラウド



情報提供：奥村組土木興業 株式会社、(株)建設システム

## ②付帯作業の効率化

## 現場映像の活用による ペーパレス化



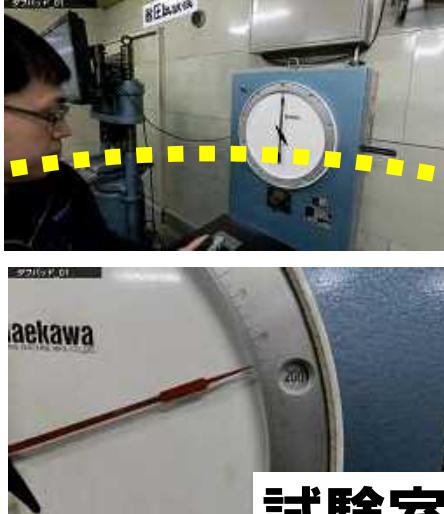
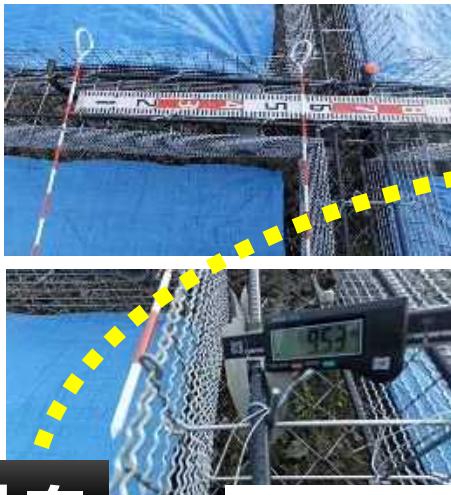
## 膨大な書類作成業務



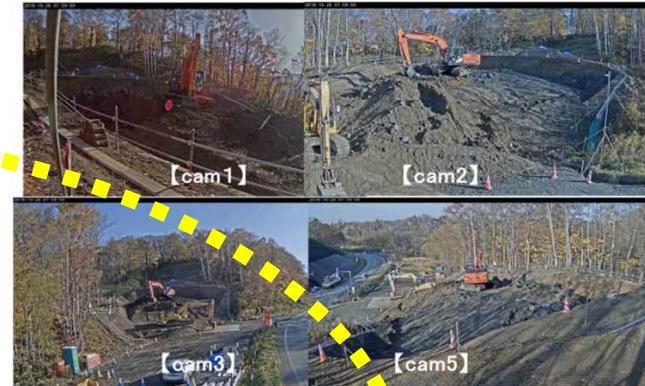
### ③ ムダの削減

## 映像臨場による検査等にともなう 待ち時間の削減

### モバイルジンバルカメラ：特定部監視



### 固定カメラ：24時間監視



### 施工現場（施工履歴）

空間共有

施工現場

試験室



施工者本社

発注者検査室

発注者事務所

# カメラを用いた遠隔臨場・遠隔立会検査

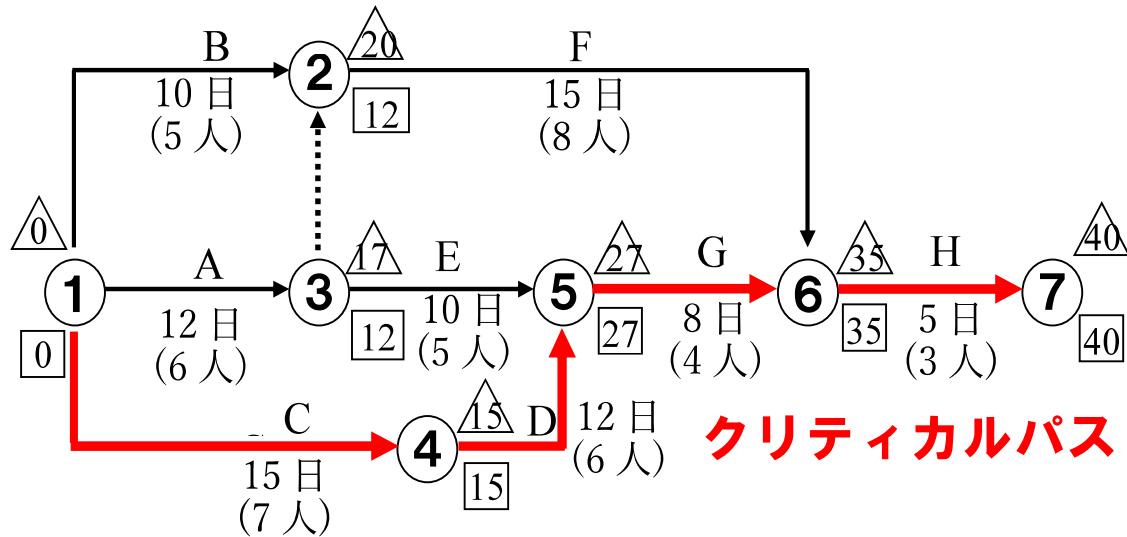


### ③ ムダの削減

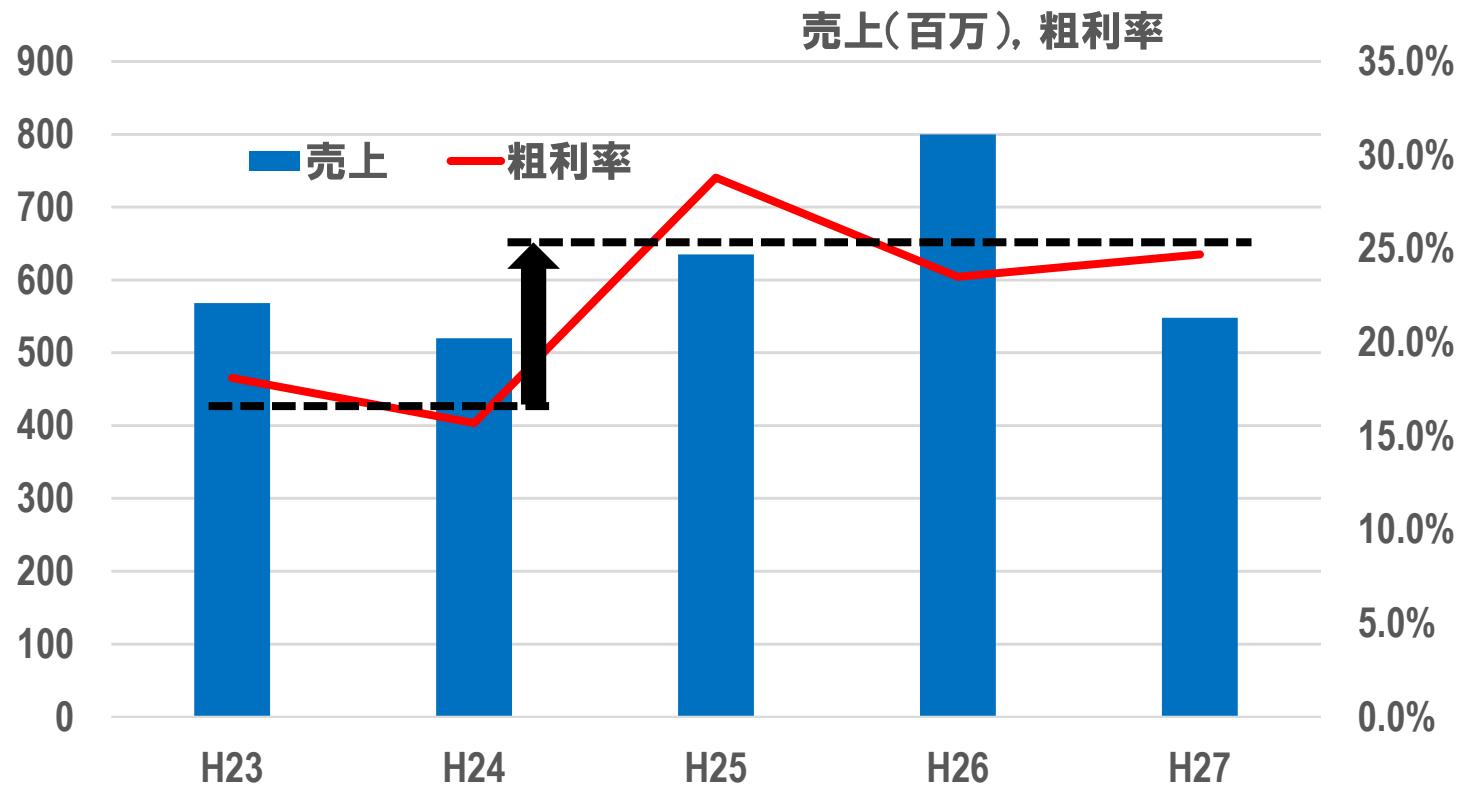
## ネットワーク型工程管理による工程間ロスの削減

| 年月   | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|---|---|
| 工種 A |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |
| 工種 B |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |
| 工種 C |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |
| 工種 D |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |
| 工種 E |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |
| 工種 F |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |
| 工種 G |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |
| 工種 H |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |
| 工種 I |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |

バーチャート型  
工程管理



# ネットワーク型工程管理の利用と原価管理の徹底

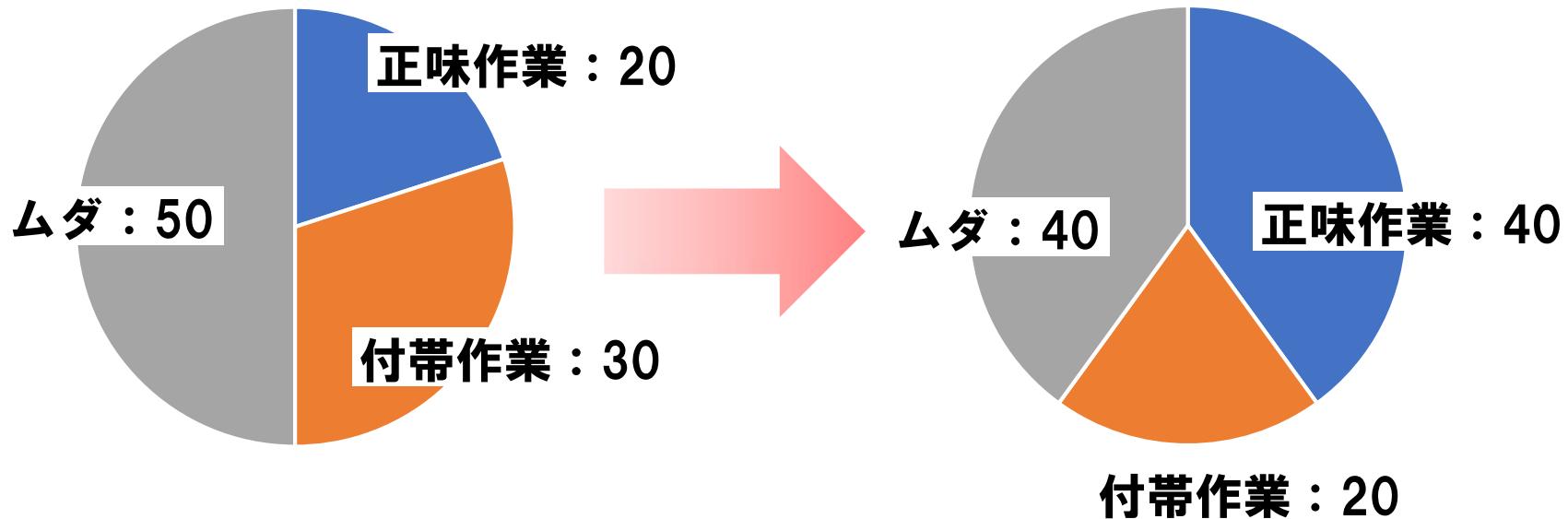


売り上げ向上ではなく、粗利率の向上で利益を確保

施工計画の精緻化のために現場映像活用を検討

資料提供：石岡組（北海道松前郡福島町）

# 正味作業時間比率を高める＝生産性向上の基本 (付加価値を生んでいる実作業時間比率)



- ・付帯作業 → サポート機器導入などで合理化・効率化可
- ・ムダ → 取り除く（省く）

# Kaizen exercise and Kaizen example in DK



Kaizen results

**Japan-DK-Seminar  
in Copenhagen  
(2019.9.13)**

**Construction Kaizen  
and i-Construction**

**Lean and Toyota  
Production System**



People who build for people



**課題の抽出とその改善策の検討プロセスの重要性**

# タイムラプス映像活用による作業工程の分析

リーンマネジメント

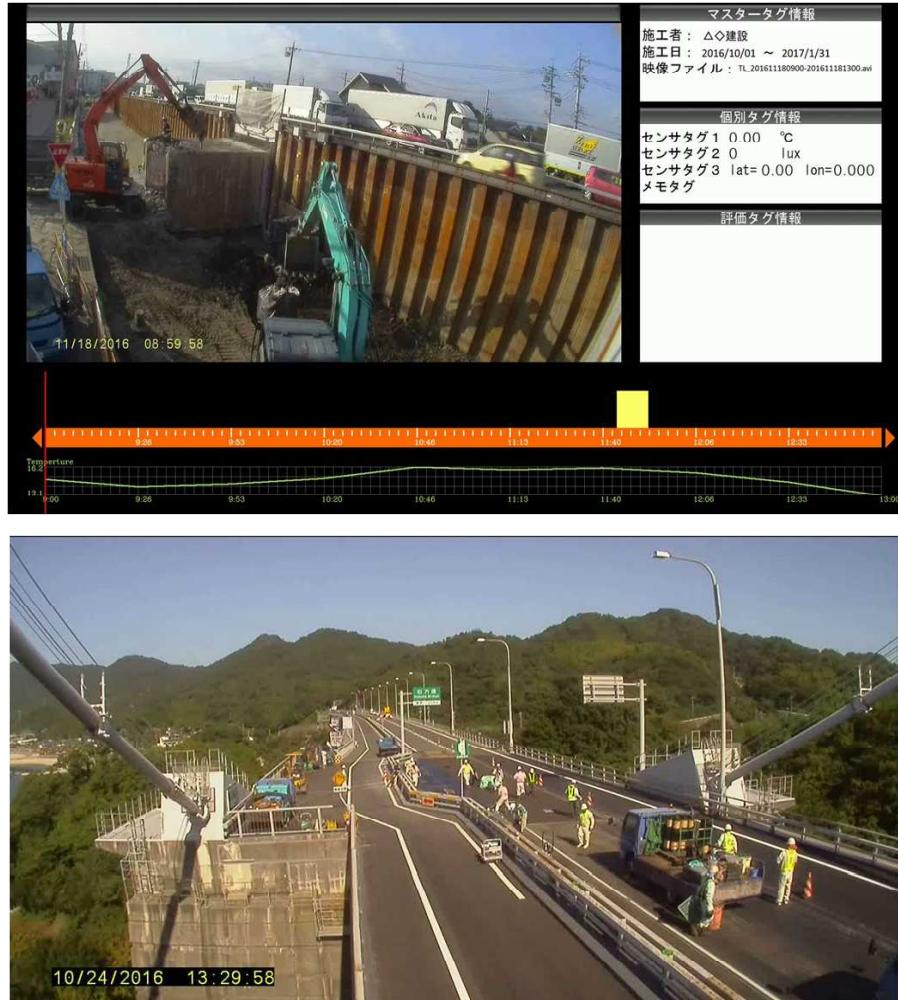
製造工程全体

ムダの顕在化

改 善

トータルコスト  
リードタイムの削減

継続性・全体最適



映像提供：可児建設 株式会社  
株式会社 愛亀

現場  
映像

→  
作業工程の分析  
施工計画の検証

## 参考文献

- ・若松義人「<世界のトヨタ式4> マサチューセッツ工科大学とトヨタ式」『トヨタ式大全：世界の製造業を制した192の知恵』PHP研究所, 2015年
- ・藤本隆宏他：改訂新版 グローバル化と日本のものづくり, 3.統合型ものづくり組織能力（トヨタ・システムの例）, 放送大学教育振興会, 2019年3月
- ・猪熊明他：リーンコンストラクションの日本での適用性, 土木学会論文集F4（建設マネジメント）, Vol.70, No.3, pp.119-125, 2014年